

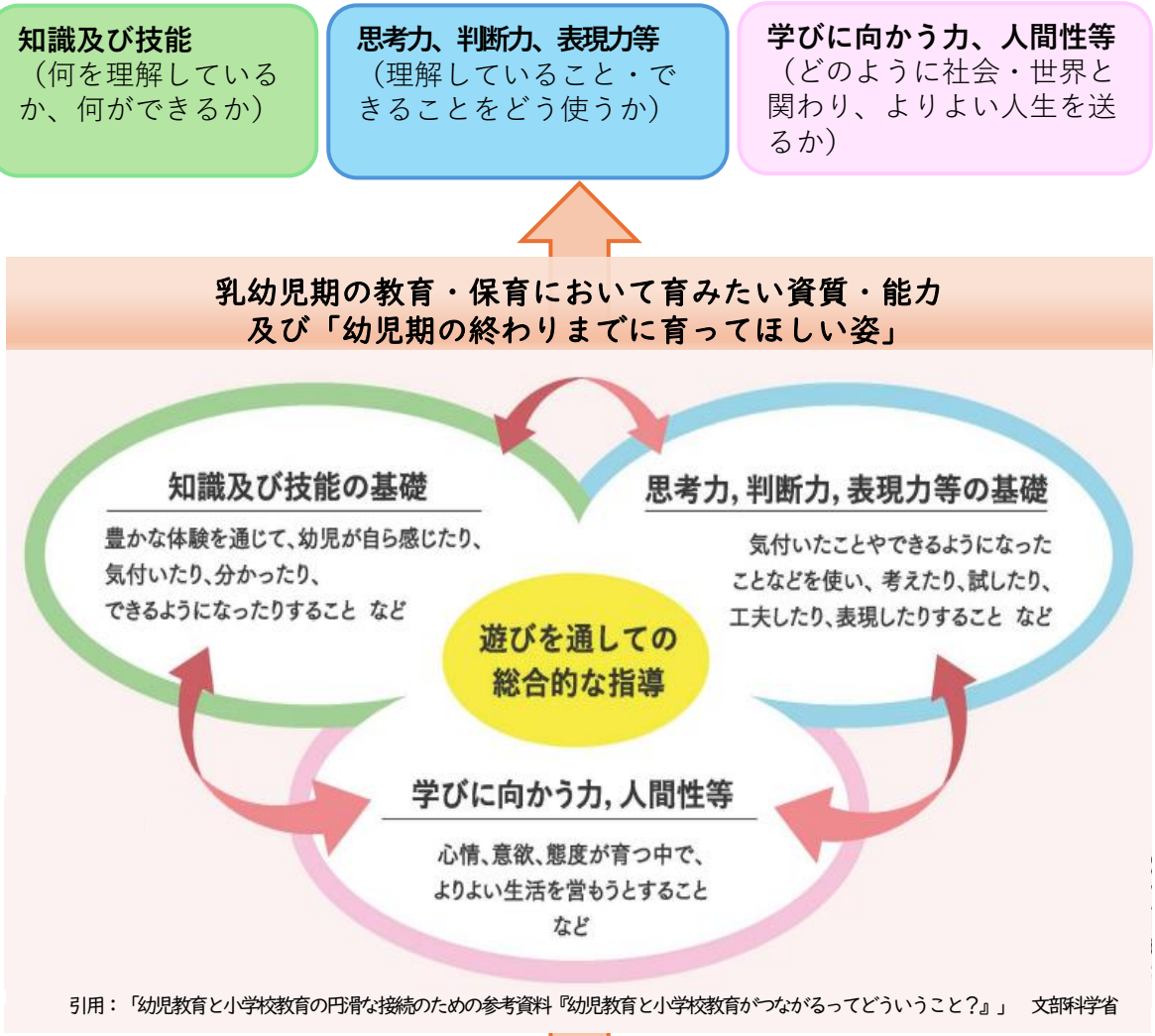
育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の整理

教
育
小
学
校
以
上
の

乳
幼
児
期
の
教
育
・
保
育

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫することにより、乳幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施する。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する。**遊びを通して総合的な指導を通して**、乳幼児期において育みたい資質・能力が**一体的に育まれていく。**



- 三つの視点、五つの領域のねらい及び内容に基づく保育・教育活動全体によって育まれる資質・能力
- ★ 健康
 - 人間関係
 - 環境
 - 言葉
 - 表現
- ★ 健やかに伸び伸びと育つ 身近な人と気持ちが通じ合う 身近なものに関わり感性が育つ

育みたい資質・能力を**一体的に育むって?**



三つの視点、五つの領域とは?

- ★三つの視点
- 身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」
 - 社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちが通じ合う」
 - 精神的発達に関する視点「身近なものに関わり感性が育つ」
- ☆五つの領域
- 心身の健康に関する領域「健康」
 - 人との関わりに関する領域「人間関係」
 - 身近な環境との関わりに関する領域「環境」
 - 言葉の獲得に関する領域「言葉」
 - 感性と表現に関する領域「表現」

育みたい資質・能力を育むとは?

乳幼児期においては、三つの視点で示されたねらい及び内容に基づいて展開されている教育・保育活動全体を通じて育まれる。
幼児期においては、五つの領域におけるねらい及び内容に基づいて展開される教育・保育活動全体を通じて育まれる。

遊びを通して総合的な指導を通して、乳幼児期において育みたい資質・能力が**一体的に育まれていきます。**



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」については、「幼保小の架け橋プログラム」参考資料2をご覧ください。